

2017年10月01日

【活動報告】

10月1日 日曜日、秋晴れの気持ちのよい日となった中、「しまうまサークル@関西」5周年記念講演会、盛会に終えることができました。多くの支援者の方々に支えられての開催でした。希少がんで患者も少なく、このような大きな講演会の企画は初めてでした。多くの出会いがあり、多くの学びがありました。上本先生の講演では、熱心にメモを取っている会員が多く、臍臓のNET患者さんからは、感謝と絶賛の声をたくさん、いただきました。

伊達先生の講演は、目からうろこというか、動画をたくさん見せていただき、今までにない講演スタイルで感動しました。メンバーさんからも、お〜っ！と驚きのどよめきが沸き起こりました。いろいろな術式、特にロボット手術の動画など初めて見ました。

金子 稚子氏の講演では、ずっと涙を流し、うなづき共感しながらお話を聞いている会員もいました。とても大切な思い出のお写真も、私たち患者会の会員に特別に見せてくださいました。本当にありがとうございました。講演内容は、今回心ならずも参加できなかった会員さんと、次回の患者会で共有したいと思います。

トークは、患者本人、家族、ご遺族という立場から、短い時間でしたが、話を進めさせていただきました。アンケートからは、時間が短すぎる、もっといろいろ聞きたかった、患者からは、家族はこんなふう感じているのかとか、また家族の方からは、患者本人の気持ちがわかった、あるいは、よその家族がどのように患者本人に接しているのか、すごく参考になったとか、いっぱい声を寄せていただきました。

今回の企画は、以前の患者会でアンケートに肺カルチノイドの講演会をしてほしいと書かれたメンバーさんの思いを実現させたものです。そのかたから、感謝の言葉と、金子さんへのお礼の花束が贈られました。

クラシックミニコンサートでは、「愛の挨拶、Time to say goodbye、愛燦燦、糸、秋メドレー」を熱唱していただき、会場の皆さんと一緒に「翼をください、上を向いて歩こう」を歌いました。上を向いて歩こうの口笛の部分は、会場の参加者が吹いてくださいました。

アンケートには、心が洗われました、気持ちが和みましたなど大絶賛の声が多数、書かれていました。またワンコインアロマハンドマッサージも好評で、たくさんの方が体験されました。そのほか、フラッグには、支援者の方がアプリケで「しまうまサークル@関西」と縫い付けてくださり、その周りにアクリルガッシュという絵の具で、会員有志が手形を押しました。ご家族としてトークに参加いただいた方も、金子 稚子氏も「しまうま」仲間なので、手形を押してくださいました。とても素敵な5周年記念のフラッグになりました。

今回は、会場がシアター形式だったので、患者交流会がしにくかったことと、遠方のかたは午後から帰られる方もおられたので、前日の夜、前夜祭と称して梅小路公園内の「京野菜レストラン」で集まり、交流会をしました。交流会には12名の方が参加いただきました。いっぱい、おしゃべりをしました。

懇親会は、JR伊勢丹11階 和久傳にて。17名の参加者でした。

金子さまは、今回、私たちの患者会と出会えたことを心から喜んでくださり、これからもNETの啓発活動にご協力いただけるお申し出があり、素晴らしいご縁ができたとうれしく思っています。

【写真集】

